



お元気ですか！
志村 たかよし です

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

新生児に「木のおもちゃ」を贈呈する 「ウッドスタート宣言」を提案



檜原村の木のおもちゃ「清流のモバイル」

区長が「検討していく」と答弁

9月17日の一般質問で、私は「ウッドスタート・木育（もくいく）」について取り上げました。

「ファースト・トイ」に

木のおもちゃは最適

「木育」とは、感性豊かな乳幼児期からおもちゃを通じて木と触れ合い、子どもをはじめとする全ての人が、木の温もりを感じながら、楽しく豊かに暮らしを送ることができるようになっていく取り組みです。

木のおもちゃは、木目を触ったときの、ぬくもり、音、匂い、色、重さの違いなど、子どもたちの五感に刺激を与え、おとなには癒やしをもたらします。赤ちゃんが初めて出会うおもちゃ「ファースト・トイ」に、木のおもちゃは最適だと言われています。それを施策として展開するときに行うのが「ウッドスタート」宣言です。

「ウッドスタート」宣言とは

「ウッドスタート」を宣言する

には、次の

「6つのプログラム」のうち、2つ以上が必要となります。

①地産地消の木のおもちゃを「誕生日祝い品」として新生

児に贈る。

②「木育インストラクター」を育成する。

③地域材を活用した子育てサロンをつくる。

④木のおもちゃの良さや楽しさを体験できる「木育キャラバン」を開催する。

⑤地域の木育推進を語り合う「木育円卓会議」を行う。

⑥東京おもちゃ美術館の姉妹館を設立する。

全国で初めて「ウッドスタート」宣言をしたのは、新宿区で、2011年のことです。新宿区には森がなく地産地消で木のおもちゃをつくる事が難しいのですが、友好提携都市である長野県伊那市でおもちゃをつくっています。

昨年、檜原村も「宣言」

「中央区の森」がある檜原村は、



2014年12月18日に「ウッドスタート」宣言を行いました。

檜原村で生まれたお子さんに、ヤマメやオオサンショウウオなどの檜原村の清流秋川に暮らす生き物たちをモチーフにした「清流のモバイル」と積み木のセットをプレゼントしています。子どもが大きくなったらモバイルのひもを外して遊ぶこともできます。

村の様々な方が、伐採から製材、乾燥、そしておもちゃの制作まですべてを手がけたもので、まさしくメイドイン檜原村です。清流のそよ風、ヒノキの香りを感じられる「檜原村の木」のおもちゃです。



区長に提案する私（志村） = 9 / 17



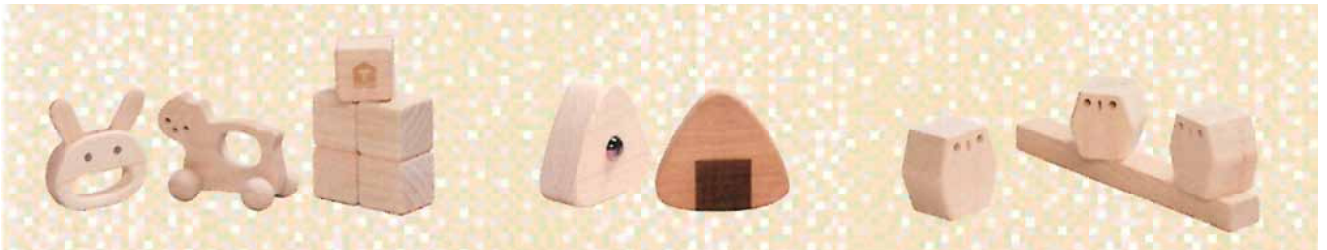
手入れが済んだ「中央区の森」の様子=区HPより

区長が「検討」を約束

私は、檜原村の協力を得て、中央区が「ウッドスタート」宣言を行い、「中央区の森」や檜原村の木で作ったおもちゃを、赤ちゃんの誕生祝いとして贈呈するという施策に取り組むことを提案しました。

区長は「検討してまいります」と答弁しました。

子どもたちの健やかな成長に資するとともに、森の保全と活用、地場産業支援、地球温暖化対策にもつながる大切な施策になると確信します。一日でも早い実現を望みます。



このおもちゃは、豊島区が「ゆりかご・としま事業」の中で誕生祝い品としてプレゼントしている木のおもちゃです。

10月1日より決算特別委員会はじまる

10月1日より14日の日程で、「2014年度決算特別委員会」が開催されます。

この委員会には、日本共産党区議団からは、加藤博司議員と奥村暁子議員が出席します。

委員会は、原則として午前10時から午後5時まで開きます。

傍聴ができますので、ぜひおいでください。ただし、委員会とは別室で音声のみの傍聴となります。

党区議団は、これまで委員会室での傍聴を求めてきましたが、まだ、実現できていません。

たくさんの方たちにおいでいただき、みなさんの改善を求める声をバックに区議会の改革をはかっていきたいと思っています。



「意見」「要望」など、お気軽に「連絡ください」(03-5561-0000)